

2010 港区民冬季テニス大会

主催 港区教育委員会
(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (一財)港区体育協会
主管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男
ディレクター 岡山 静
レフェリー 植竹 龍彦
大会運営係 Love All Tennis Club

日時 2010年12月19日 9:00~16:00 雨天中止

会場 有明テニスの森公園コート (ハードコート)
当日の連絡 090-1117-5121

種目 男子ダブルス

集合時間

No. 2-3 10-11 24-25 32-33 36-37 44-45 58-59 66-67	の方は AM 8:50
No. 6-7 12-13 22-23 28-29 40-41 46-47 56-57 62-63	の方は AM 9:20
No. 8-9 14-15 20-21 26-27 42-43 48-49 54-55 60-61	の方は AM 9:40
No. 4-5 16-17 18-19 30-31 38-39 50-51 52-53 64-65	の方は AM 10:00

上記以外の方は AM 10:20 までに受付を終了してください。

試合方法 トーナメント戦 1セットマッチ(6ボールダブルレグシステム) ノードバンテージスコアリング方式
セルフジャッジ方式(天候等により変更する場合があります)

表彰 1~3位(表彰状・副賞)

その他

- ・試合球は主催者がダブロップ フォットエラーを用意する。
- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック2010」に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

・判定とコール

(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。

(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。

・カウントのコール(サーバーの義務)

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。

・サービスのレット

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとは判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)

・試合が終了したら

勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。敗者はセットボールを持ち帰る。